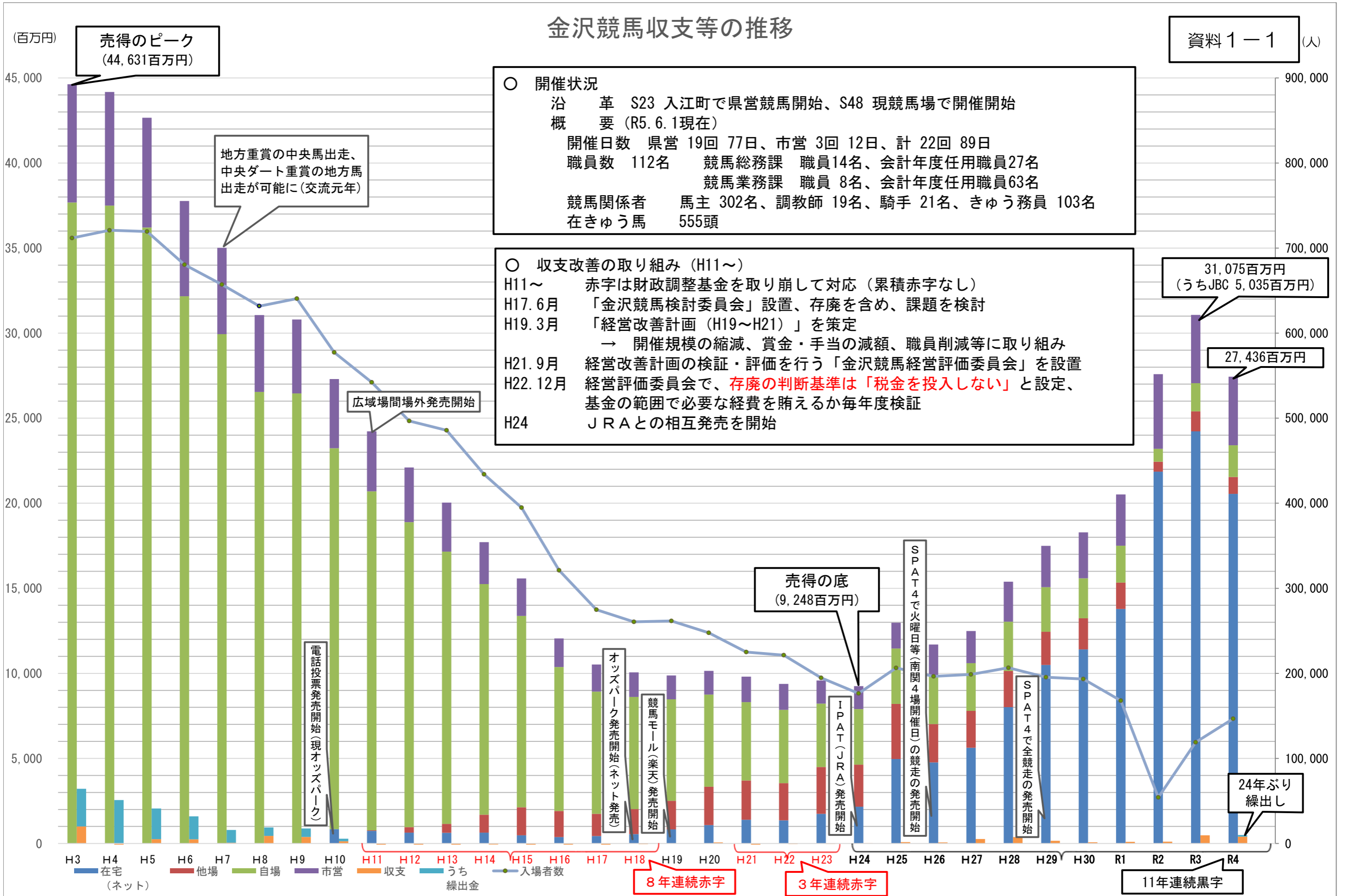


金沢競馬収支等の推移

資料 1-1 (人)



○ 開催状況
沿革 S23 入江町で県営競馬開始、S48 現競馬場で開催開始
概要 (R5.6.1現在)
開催日数 県営 19回 77日、市営 3回 12日、計 22回 89日
職員数 112名 競馬総務課 職員14名、会計年度任用職員27名
競馬業務課 職員 8名、会計年度任用職員63名
競馬関係者 馬主 302名、調教師 19名、騎手 21名、きゅう務員 103名
在きゅう馬 555頭

○ 収支改善の取り組み (H11~)
H11~ 赤字は財政調整基金を取り崩して対応(累積赤字なし)
H17.6月 「金沢競馬検討委員会」設置、存廃を含め、課題を検討
H19.3月 「経営改善計画(H19~H21)」を策定
→ 開催規模の縮減、賞金・手当の減額、職員削減等に取り組み
H21.9月 経営改善計画の検証・評価を行う「金沢競馬経営評価委員会」を設置
H22.12月 経営評価委員会で、**存廃の判断基準は「税金を投入しない」と設定**、
基金の範囲で必要な経費を賄えるか毎年度検証
H24 JRAとの相互発売を開始

(百万円)

(人)

売得のピーク
(44,631百万円)

地方重賞の中央馬出走、
中央ダート重賞の地方馬
出走が可能に(交流元年)

広域場間場外発売開始

電話投票発売開始(現オッズパーク)

オッズパーク発売開始(ネット発売)

競馬モール(楽天)発売開始

売得の底
(9,248百万円)

SPAT4で火曜日等(南関4場開催日)の競走の発売開始

SPAT4で全競走の発売開始

24年ぶり繰出し

8年連続赤字

3年連続赤字

11年連続黒字

31,075百万円
(うちJBC 5,035百万円)

27,436百万円

H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

在宅 他場 自場 市営 収支 うち繰出金 入場者数

(人)

900,000
800,000
700,000
600,000
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0

45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0

在宅 (ネット)

他場

自場

市営

収支

うち繰出金

入場者数